愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	都市空間と地域まちづくり		
担当者(Instructors)	井澤 知旦	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

都市は暮らしの場であり、私たちの生活を包み込む器（＝空間）と言えます。その意味では、どのような地域（＝まち）を作っていくのかは私たち暮らしの質を左右する重要なテーマとなります。また、地域まちづくりにおいては多様な要素（分野と主体）から成っているので、それらの要素を総合化することで地域まちづくりが実践されていきます。 よって、ここでは広く社会の変化や仕組みを学ぶことを通じて、都市空間と地域まちづくりの現場の多様性に関心を持つようになり、感性および創造性の高い人材として成長していくことを目的としています。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	少子高齢化やウィズコロナなどの社会環境の変化という社会環境編、および地域まちづくりの理論編と実践編をバランスよく15回の講義で構成し、それらをできる限り理解しやすいようにパワーポイントを使ってビジュアル（フローチャート、図、写真等）に多様な情報を提供していきます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	以降の講義の進め方とものの見方について知る	□
第2回	地域まちづくりをとりまく社会環境	人口減少社会の課題と市街地のたたみ方、ウィズコロナ下のまちづくりを学ぶ	□
第3回	シェアリングエコノミーとストックシェアリング	所有から利用、減価償却から増価蓄積型社会への転換を学ぶ	□
第4回	クリエイティブシティとシビックプライド	創造都市の要件と当事者意識のある市民とは何かを学ぶ	□
第5回	公共空間の重要性とその活用	公共空間におけるオープンカフェ等を通じて考察する	□
第6回	都市景観の持つ価値とそのコントロール	世界のマクドナルドの比較や景観価値評価を行う	□
第7回	歴史的町並みとそのコントロール	東海地区の重要伝統的建造物群保存地区の持つ価値を学ぶ	□
第8回	中間テスト	これまでの授業を振り返り、理解度をチェックする	□
第9回	名古屋はいかに発展してきたか	名古屋の発展史を5つのエポックから概観する	□
第10回	名古屋の空間的特質としての区画整理	都市空間を形作った区画整理を4人の推進者を通じて概観する	□
第11回	地域資源の活用と地域まちづくり1	やきもの資源を活用した瀬戸・多治見・常滑の事例を学ぶ	□
第12回	地域資源の活用と地域まちづくり2	産業資源を活用したものづくり文化の道（西区）の事例を学ぶ	□
第13回	地域資源の活用と地域まちづくり3	文化的資源を活用した蔵の街/半田や文化のみち/東区の事例を学ぶ	□
第14回	日米の都市再開発	再開発を通じた地域活性化の事例を学ぶ	□
第15回	新たな地域価値を付加するエリアマネジメント	地域の価値を維持・向上させるエリアマネジメントを学ぶ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・各回の授業前に講義資料（概要）を送付し、それをもとに事前学習を行う（2時間程度）。 ・授業後に講義内容と講義資料をもとに、課題レポートを作成する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・課題レポートは翌週に全体的評価を行うとともに、優秀なレポートを紹介する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	広く社会の変化や仕組みを理解でき、都市空間と地域まちづくりに関わる感性と創造性を高めることができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
50%			20%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験は講義の中間回（第8回）でそれまでの授業内容についての理解度をチェックします。その他は各回の授業において課題を出すので、それを回答（レポート提出）することで平常での評価を行います。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	井澤知旦『名古屋都市・空間論』風媒社 2023.3	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	河合雅司『未来を見る力ー人口減少に負けない思考法ー』 PHP研究所 2020	978-4-5698-4686-6
2	広井良典 『人口減少社会のデザイン』 東洋経済新報社 2019	978-4-492-39647-6
3	米山秀隆『アフターコロナの都市と住まい』 プログレス 2021	978-4-910288-10-9
4	矢作弘他『コロナで都市は変わるか』 学芸出版社 2020	978-4-7615-1372-6
5	リチャード・フロリダ　川口典夫訳『新クリエイティブ資本論』 ダイヤモンド社 2014	978-4-4780-2480-5